

記入例

本記入例は、記入のポイントを明確にするために作成しているため、架空の技術開発案件について記載しています。そのため、技術的な整合性がない部分もありますので、ご注意ください。

大阪府知事様

<代表者名>

代表者名は役職を必ず記載

※代表取締役、代表取締役社長、代表社員等

(代表者)

所在地 大阪府東大阪市荒本北1-4-1

名称 株式会社MOBIO

代表者名 代表取締役 大阪 太郎

<住所>

郵便番号は不要、大阪府から記載

押印不要

ものづくりイノベーション支援プロジェクトとして認定を受けたいので、ものづくりイノベーション支援プロジェクト認定要綱第4条に基づき関係書類を添えて申請します。

1 プロジェクト計画書

ご注意ください。

※★のついた項目は、プロジェクトが認定された場合、大阪府ホームページで公表されます。

申請枠 ※いずれかの□をチェック ※DX等推進枠は複数選択可。					
DX等推進枠 (<input checked="" type="checkbox"/> IoT <input type="checkbox"/> AI <input type="checkbox"/> ロボット <input checked="" type="checkbox"/> DX推進)				<input type="checkbox"/> 基盤技術開発枠	
共同事業体の概要					
中小企業者 (代表者)	名称★	株式会社MOBIO			
	所在地★	〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-1			
	担当者	役職：開発事業部 部長	氏名：大阪 次郎		
	連絡先等	電話：06-6748-〇〇	FAX：06-6748-△△		
		E-mail：00000000@00saka.jp URL：http://www.m-000osaka.com/jp/			
支援機関	名称★	地方独立行政法人 ○〇研究所			
	所在地★	〒577-0000 大阪府大阪市中央区大手前〇-△			
	代表者	理事長 谷町 太郎			
	担当者	役職：○○研究科リーダー	役職：○○研究科リーダー		
	連絡先等	電話：06-6748-〇〇	電話：06-6748-〇〇		
		E-mail：kenkyu000syo@000saka.jp			
当該機関のこれまでの主な技術開発支援活動実績（実施年度、内容）を簡潔に記載してください。 平成29年度経済産業省○○○事業（H29.6～H30.3）の管理法人受託 平成30年度大阪府○○○事業（H30.7～H31.3）にかかると事業計画策定支援及び事業サポート ○○○ビジネス研究会「新エネルギー分野における技術開発」主催（R3.4.〇）					
その他の 構成員	上記以外に共同事業体の構成員となる企業・機関がある場合は記載してください。				
	区分	名称★	所在地★	担当者役職/氏名	連絡先
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 支援機関	◆◆株式会社	堺市中区○○	事業部 ○○ ○○	電話：1234-5678 E-mail：kkkk@ll.jp
	<input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 支援機関	◆◆研究所	大阪市○○	研究部 ○○ ○○	電話：1234-4321 E-mail：kkkk@ll.jp

支援機関が実施してきた国プロ受託や技術開発支援活動について事業ごとに記載してください。

その他の構成員（企業・他の支援機関）についてもネットワークへの加入が必要です。

2 技術開発の概要

(1) プロジェクトの名称★

ねじ部材の基材表面に〇〇素材を用いた、高機能・高性能表面加工処理技術の開発

(2) 技術開発の概要★ ※100字程度で記載してください。

〇〇を行う際に生じる.....を解決するため、ねじ部材の基材表面に〇〇を用いて、従来の.....から.....を可能とする高機能・高性能な表面処理加工技術を開発する。

(3) 事業実施期間 ※最長3年まで可能。 ※助成金事業対象期間は1年目（交付決定日から翌年3月15日）までです。

交 付 決 定 日 ～ 令 和 年 月 日

開発計画の実施期間（最長3年まで）を記載
※（7）スケジュールに合わせる事
※ただし、助成金対象期間は、1年目（交付決定日～翌年3月15日まで）のみとなります。

(4) 事業実施場所 ※実施場所が複数ある場合はすべて記載

- ・東大阪市荒本北 1-4-1 株式会社MOBIO内
- ・大阪府中央区大手前〇-△-□ 地方独立行政法人 〇〇研究所

(5) ものづくりイノベーション支援助成金の活用 ※いずれかを選択。



活用する



活用しない（プロジェクト認定のみ）

(6) 技術開発の具体的な内容（必要に応じて行を追加してください。）

《申請・開発に至った背景》

《技術課題の概要》

次の点にご留意ください。

- ・できるかぎり具体的に記載してください。
- ・専門用語を使用する場合は注釈をつけてください。
- ・写真やデータ・図面等、補足資料がある場合は、この（6）欄に記載または、貼り付けてください。

《技術開発計画の内容について》

①技術課題を踏まえた計画目標、②競合技術との優位性や知的財産の保有状況、③事業化の可能性や市場性を簡潔に記載してください。

《計画の達成に向けた取組みにおける、関係機関の参画状況》

※関係機関とどのような役割分担で計画を進めるのか具体的に記載すること（図式でも可）。

【株式会社 MOBIO】

- 6月 表面処理加工の最適化：.....
- 7月 製造装置の開発：.....
- 8月 ユーザーサンプルの提供：.....

【地方独立行政法人 〇〇研究所】

- 7月 〇〇素材の選定：.....
- 10月 表面処理技術の指導：表面処理技術に関して深い知見を有している〇〇研究員（〇〇科）に、定期的な指導を受ける。

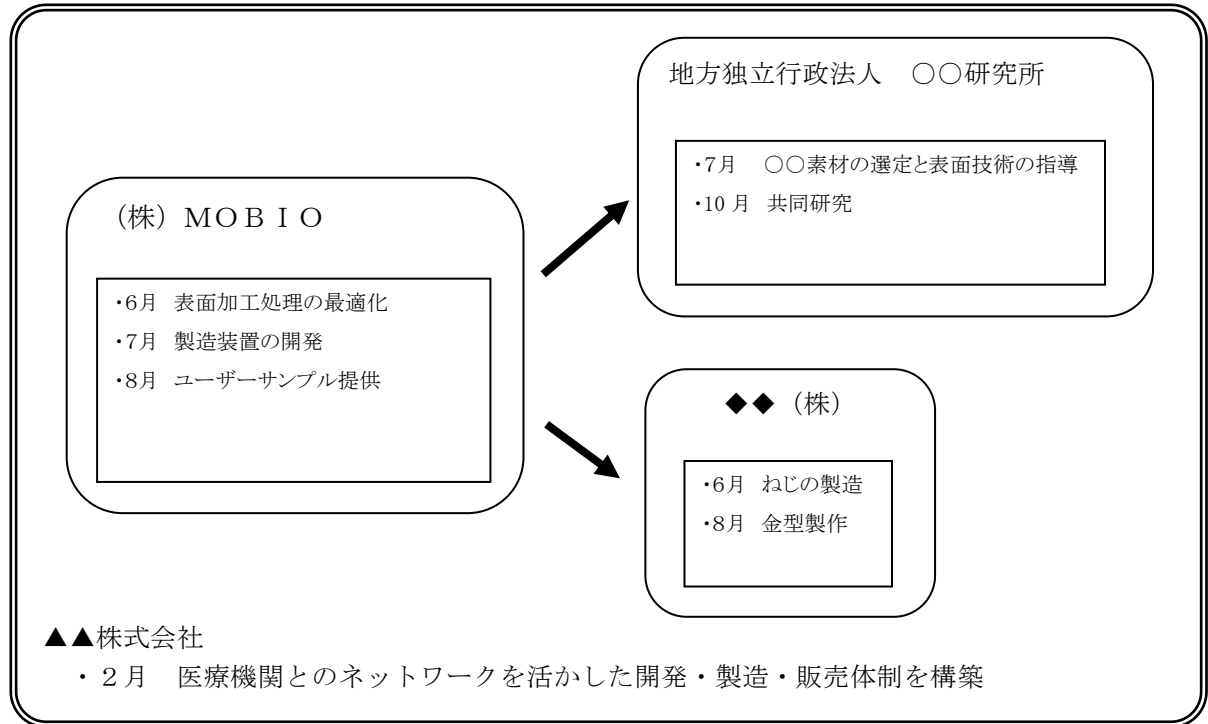
- ・共同企業体の構成員の具体的な役割及びそれぞれの取組内容を時系列順に並べて記載してください。
- ・特に申請代表者（中小企業者）が取り組む技術開発内容を詳しく記載してください。

【▲▲株式会社】

- 2月 医療機関とのネットワークを活かした開発・製造・販売体制を構築

【◆◆株式会社】

- 6月 ねじの製造：・・・
- 8月 金型製作：・・・



(7) スケジュール及び事業費 (必要に応じて行を追加してください)						
項目	令和5年度			令和6年度	令和7年度	事業費
	5~7月	8~11月	12~3月			
素材の選定	→					千円
ねじ金型の製作	→					千円
表面加工技術の最適化、高性能・高性能ねじ部材の試作開発	→					千円
ねじの締結特性及びゆるみ試験評価		→				千円
製品の実用化が寄与するユーザー、マーケットの選定		→				千円
試作品のサンプル提供によるユーザーへのPR・評価				→		千円
試作品の改良・実用化開発				→		千円
展示会出展、学会発表本格的事業化に向けた設備投資					→	千円
事業費						千円

計画の実施期間中に取組む項目及び時期、必要事業費等を記載してください。

認定された場合、右端の矢印の終わりまでの期間がプロジェクトの認定期間となります。認定期間中のみ制度融資(募集案内P8)を受けることができます。

3 助成事業の概要

※助成金を活用しない場合は記入不要です。

「2 技術開発の概要」「(5) ものづくりイノベーション支援助成金の活用」で「活用する」を選択した場合のみ記載してください。

(1) 助成事業の実施内容

助成金を活用して実施する技術開発の取組み内容・達成目標について簡潔に記載してください。

※必要に応じて行を追加してください

助成事業実施期間内の具体的な取組みを、
できる限り、工程を区分して詳細に記載してください。

募集案内の【助成対象経費】をよくお読みいただき、対象経費を積算してください。

当初計画の経費区分間において、額の少ない区分の金額の20%を超える変更が生じる見込みである場合は、大阪府に連絡するとともに、『助成事業の経費配分の変更承認申請書（様式第2号）』を提出し、承認を受ける必要があります。

また、小計が「0」の項目に経費を変更する場合は、必ず変更申請の提出が必要となります。

(2) 経費配分案

上記(1)の実施にあ

※③助成事業申請額

区分	細目	①助成事業に要する経費	②助成対象経費	③助成事業申請額 ②/2 ≧ ③	備考
技術開発費	開発事業費				
	・原材料費	500,000円	500,000円	250,000円	○溶液、□溶液
	・原材料費	100,000円	100,000円	50,000円	材質
	・原料費	100,000円	100,000円	50,000円	金属材料(●●●●)
技術開発費	・機械装置購入費	500,000円	500,000円	250,000円	I o T 導入
	・機械装置改良費	500,000円	500,000円	250,000円	I o T 改良
	・外注加工費	500,000円	0円	0円	■株式会社外注
	開発委託費				
技術開発費	・共同研究費	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	◇◇大学共同研究
	a 小計	3,200,000円	2,700,000円	1,350,000円	
技術調査費	調査事業費				
	・試験分析費	300,000円	300,000円	150,000円	府立○○研究所依頼
	・市場調査費	500,000円	500,000円	250,000円	マーケティング会社
	・展示会出展経費	700,000円	200,000円	100,000円	委託
技術調査費	b 小計	1,500,000円	1,000,000円	500,000円	
	機械装置・システム構築費				
機械装置・システム構築費	導入費				
	・デバイス購入費用				
	・機械装置の設置費用				
	・PoC 実施に係る委託費				
機械装置・システム構築費	・AI ソフトウェア開発費				
	c 小計	0円	0円	0円	
事務費	事務費				
	・資料購入費	100,000円	100,000円	50,000円	
	・外部有識者謝金	200,000円	200,000円	100,000円	
	d 小計	300,000円	300,000円	150,000円	
合計 a+b+c+d		5,000,000円	4,000,000円	2,000,000円	

例えば、事業実施中にデバイスを購入したい場合は、小計が「0」なので、必ず変更申請の提出が必要となります。

(3) 助成金以外の経費負担について

経費負担者	株式会社MOBIO
負担額	負担額 = ①助成事業に要する経費 - ③助成事業申請額
	3,000,000円
負担方法	自己負担

同時期に、同一の事業で他の助成制度を受けた場合、本助成金は対象外となりますのでご注意ください。
不明な点がありましたら事前にご相談ください。

(4) 他の助成制度の適用について

本プロジェクトについて、同一の事業で他の助成制度の適用を受けている、または受けようとしている（申請予定含む）場合は、当該助成制度名等を余白に記載してください。

(助成制度名、申請時期、採択時期を記入)

該当あり

〇〇市技術開発助成金、〇〇年 5 月申請予定、〇〇年 7 月採択予定

該当なし

◆こんなときは事務局にご相談ください。

- ・ 連携する支援機関が見つからない
- ・ 計画書（案）の記載方法を教えてほしい
- ・ 申請前に計画書（案）の内容を確認してほしい など

※事前に相談があった場合でも、募集期間中に申請がない場合は、審査の対象となりませんのでご注意ください！！